

【研究概要】

薬物性肝障害（DILI）は肝障害の成因として頻度が高いが、その臨床像は多様で、診断は除外診断を基本とする。本研究の目的は、2023 年に新たに提唱されたスコアリングシステム（RECAM-J 2023）を用い、1）肝臓専門医独自の判断によって DILI と診断された症例、および成因不明の急性肝障害の症例の臨床情報を集計して、RECAM-J 2023 の妥当性を前向きに明らかにすることである。また、2）血清を収集して保存し、臨床情報とバイオバンクを備えたレジストリを構築する。